

エコアクション21 環境活動レポート



環境省
エコアクション21
認証番号0003866



2016年度（2016年4月～2017年3月）
基準年2007年度 2017年7月1日発行

時代とともに 街とともに
TATEYOSI
corporation

株式会社 建吉組

■表紙建物・・・ 2016年度GEOパワーシステム導入建物
・長洲町立小中学校 ジオパイプ 7.5m×36本
(腹栄中学校、腹赤小学校、六栄小学校、
長洲中学校、長洲小学校、清里小学校)

環境活動レポート

1.事業概要(P1)

2.組織概要・対象範囲(P2)

3.環境方針(P3)

4.環境への負荷実績・目標(P4~7)

5.環境活動の計画と
取組結果の評価(P8~13)

5-2.環境活動の全体評価(P14,15)

5-3.環境活動の今後の課題(P15)

6.環境活動における次年度の取組内容
(P16,17)

7.環境関連法規等の遵守状況の確認
及び評価の結果(P18)

8.建設に係る環境関連法規への違反、
訴訟等の有無(P19)

9.実施体制(P20,21)

10.代表者による全体評価と
見直しの結果(P22)

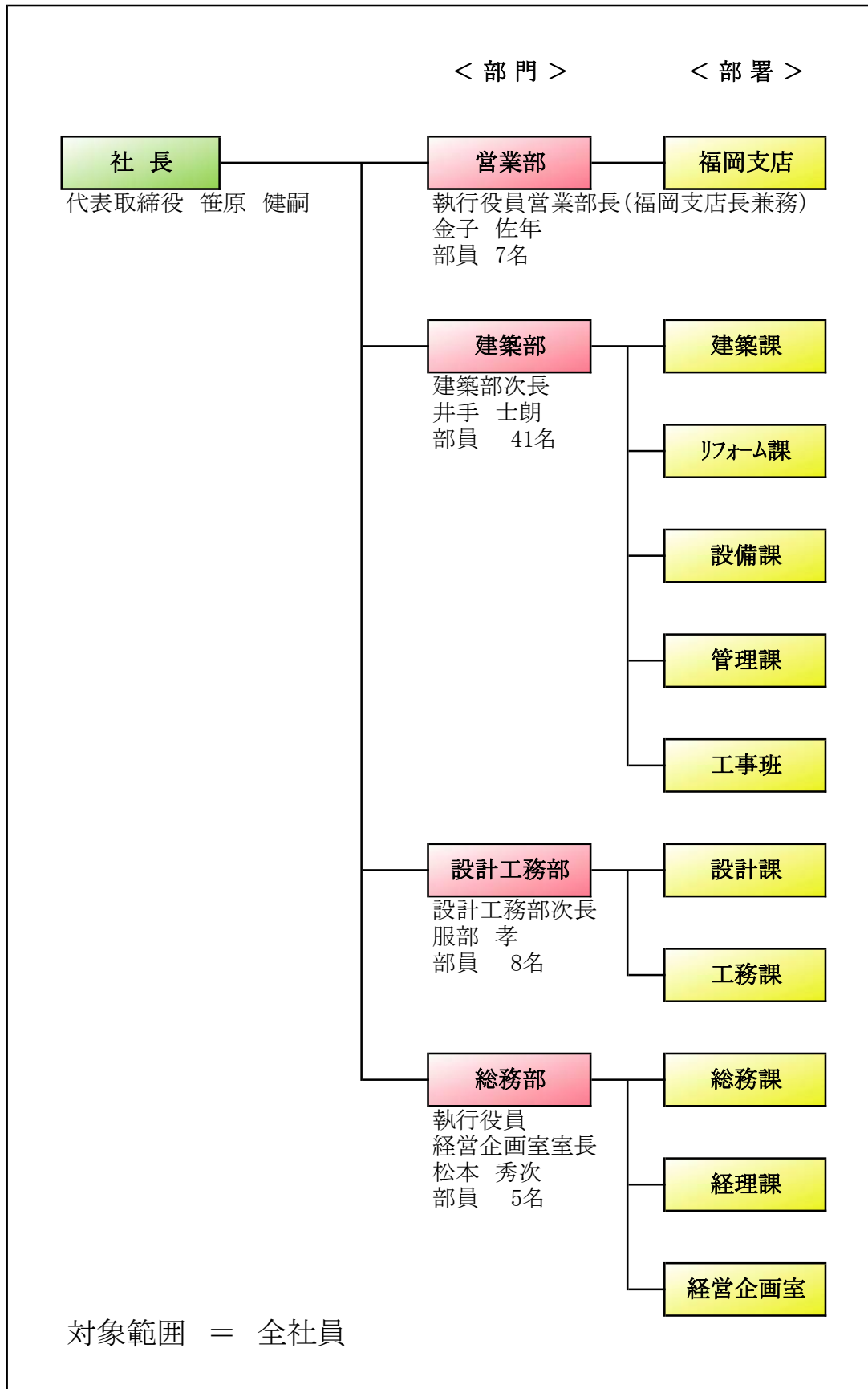
1. 事業概要

商号	株式会社 建吉組
本社所在地	熊本県熊本市中央区坪井6丁目38番15号
代表者	代表取締役 笹原 健嗣
創業	大正 8年 5月 1日
創立	昭和 19年 4月 19日
所在地	本社 熊本市中央区坪井6丁目38-15 福岡支店 福岡市南区塩原3-26-18-704 合志倉庫 合志市野乃島字野田原4420番3
URL	http://www.tateyosi.co.jp
事業内容	建設工事の企画・設計及び監理 建築・土木工事の施工
資本金	1億円
完工高	40億円(平成28年度)
従業員数	62名
許可	建設業許可 国土交通大臣(特-24)第853号
許可を受けた建設業	(特-24) 土木工事業 土工事業 とび・土工事業 屋根工事業 タイル・れんが・ブロック工事業 鉄筋工事業 ガラス工事業 防水工事業 熱絶縁工事業 水道施設工事業 建築工事業 左官工事業 石工事業 管工事業 鋼構造物工事業 ほ装工事業 板金工事業 塗装工事業 内装仕上工事業 建具工事業
登録	一級建築士事務所登録 熊本県知事 第100号
環境管理統括管理者:	服部 孝
環境管理担当者:	加治屋 賢二
連絡先:	TEL FAX 096-343-1111 096-345-6711

2. 組織概要・対象範囲

2016.4.1現在

株式会社 建吉組 組織図 (EA21認証・登録範囲)



3. 環境方針

環境方針

株式会社建吉組は、地域環境の保全とその継承の重要性を認識し、建設業としての事業活動を通して、環境負荷の低減、持続可能な循環型社会の構築に貢献します。

次の環境方針に基づき環境マネジメント活動を推進して地域の環境保全に貢献する企業を目指します。

1. 当社の業務運営に関わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
2. 当社に関連する環境関連法規制などの要求事項を順守します。
3. 顧客に対して、環境に配慮した製品を提案し、省エネに配慮した設計に努めます。
4. 当社の事業活動に係わる環境影響のうち、以下の項目を環境経営重点テーマとして取り組みます。
 - (1) 二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 産業廃棄物排出量の削減
 - (3) 総排水量の削減
 - (4) グリーン購入
 - (5) 資源の節約
 - (6) 地域貢献
 - (7) 化学物質の適正管理
5. すべての社員が環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、環境方針を全従業員及び協力会社に周知し、社外にも公開します。

上記の方針達成の為に、目標を設定し、定期的に見直し、環境活動を推進します。

2008年 6月1日 制定

2014年 9月1日 改訂

株式会社 建吉組

代表取締役 **並原健嗣**

4. 環境への負荷実績・目標

環境の負荷実績(2007年度(基準年), 2015, 2016年度) 4月～3月(12ヵ月)

			2007年度(基準年)		2015年度		2016年度	
			実績		実績		実績	
			事務所	現場	事務所	現場	事務所	現場
産業廃棄物の削減	コンクリート殻	数量(t)	0.0	1,101.6	0.0	1,229.9	0.0	5,056.8
	建設発生木材	数量(t)	0.0	391.7	0.0	323.9	0.0	137.6
	建設発生金属	数量(t)	0.0	158.4	0.0	100.3	0.0	22.2
	建設汚泥	数量(t)	0.0	417.1	0.0	68.6	0.0	600.1
	紙くず	数量(t)	0.0	86.7	0.0	52.6	0.0	17.7
	建設混合廃棄物	数量(t)	0.0	154.7	0.0	6.5	0.0	36.9
CO2総排出量(事務所)		kg-CO2	133,212		95,350		98,812	
CO2総排出量 現場(完成工事高 百万あたり)		kg-CO2		16.2		15.9		22.9
資源等使用量		数量(t)			20,686		4,940	
化学物質使用量			使用材料の選定を行っている(場合によりVOC測定で数値を確認)					
GEOパワーシステム※		CO2削減数量(t)			46.5		66.0	
その他	水資源	使用量(m ³)	178	3,493	56	1,442	43	969
	紙	使用量(枚)	478,000	102,000	295,500	224,000	336,000	299,500
	地域貢献	回数	5回		6回		6回	
	グリーン購入	購入率%	-	-	65.7%	56.0%	67.3%	55.5%

*CO2総排出量は、平成26年度九州電力橋実排出係数(0.584)にて計算。基準年度も同係数に換算し計算。 ※自らが施工・販売・提供する製品及びサービスに関する環境配慮

2016年度目標に対する実績(4月～3月)

			目標		実績		評価	
			事務所	現場	事務所	現場	事務所	現場
産業廃棄物の削減	コンクリート殻	再資源化率%		100.0		100.0		○
	建設発生木材	〃		100.0		100.0		○
	建設発生金属	〃		100.0		100.0		○
	建設汚泥	〃		100.0		100.0		○
	紙くず	〃		100.0		100.0		○
	建設混合廃棄物	〃		100.0		96.4		△
CO2の削減		%	-30.0	-6.0	-25.8	141.3		△
GEOパワーシステム ※ 自然エネルギー「地中熱」を利用した特許工法		CO2削減数量(t)	システム普及により、CO2の削減40t		66.0(t) (パイプ132本分) 5mパイプでCO2を約0.5t削減			○
その他	水資源	削減率%	-70.0	-70.0	-75.8	-72.2		○
	紙	〃	-30.0	-3.0	-29.7	193.6		△
	地域貢献	回数	5回		6回			○
	グリーン購入	購入率%	グリーンマーク製品やエコ製品の年間購入率62%以上		67.3%	55.5%		○

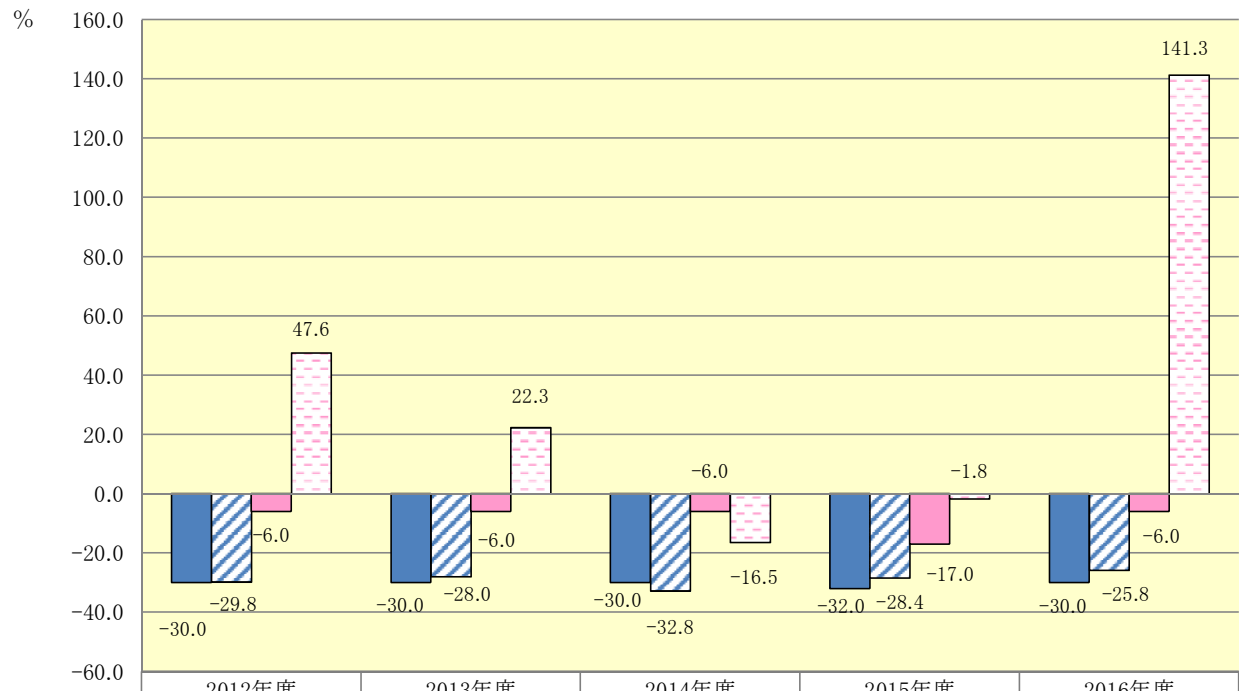
※自らが施工・販売・提供する製品及びサービスに関する環境配慮

短期・中期目標(年間)

			短期2017年度		中期2018～2020年度	
			事務所	現場	事務所	現場
産業廃棄物の削減	コンクリート殻	再資源化率%		100.0		100.0
	建設発生木材	〃		100.0		100.0
	建設発生金属	〃		100.0		100.0
	建設汚泥	〃		100.0		100.0
	紙くず	〃		100.0		100.0
	建設混合廃棄物	〃		100.0		100.0
CO2総排出量 現場(完成工事高 百万あたり)		%	-30.0	-3.0	-30.0	-3.0
GEOパワーシステム ※ 自然エネルギー「地中熱」を利用した特許工法		CO2削減数量(t)	システム普及により、CO2の削減45t		システム普及により、CO2の削減45t	
その他	水資源	%	-72.0	-72.0	-73.0	-73.0
	紙	%	-30.0	-3.0	-32.0	-3.0
	地域貢献	回数	5回		5回	
	グリーン購入	購入率%	グリーンマーク製品やエコ製品の年間購入率62%以上		グリーンマーク製品やエコ製品の年間購入率65%以上	

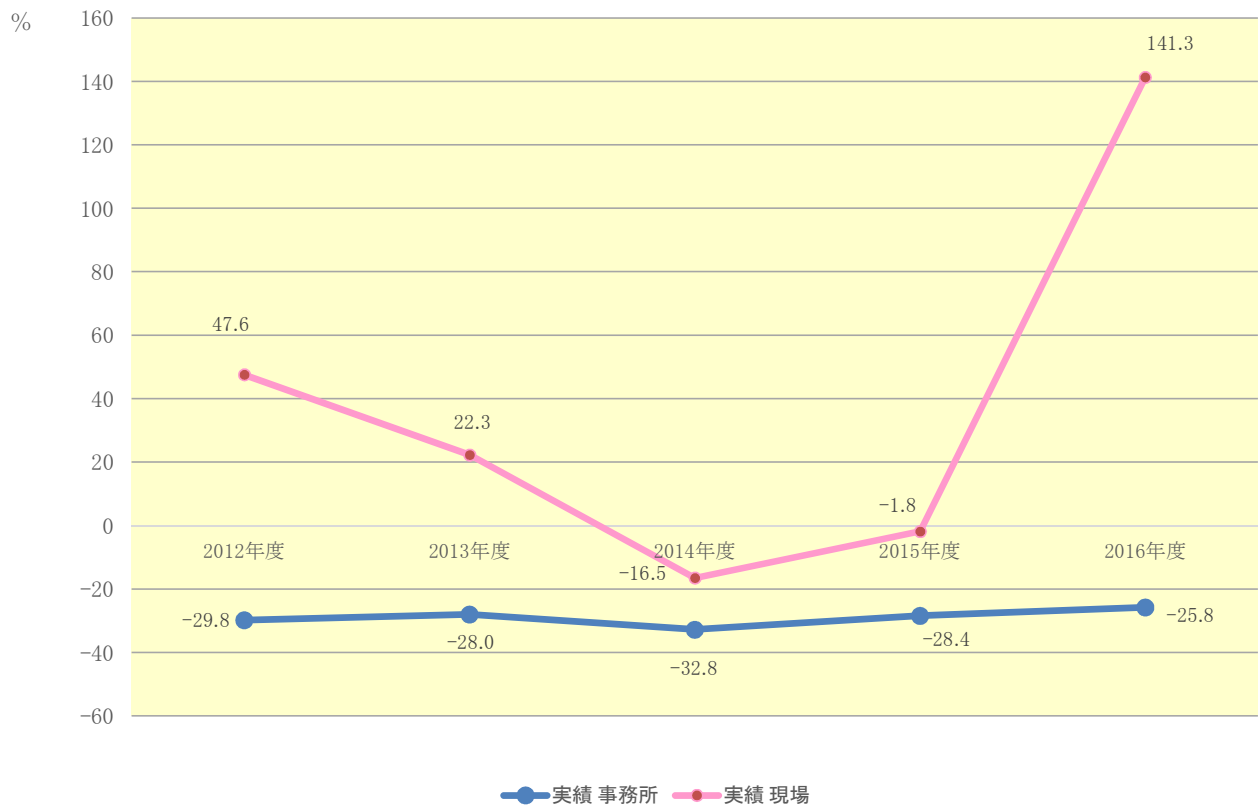
※自らが施工・販売・提供する製品及びサービスに関する環境配慮

CO2削減目標に対する実績【直近5年】

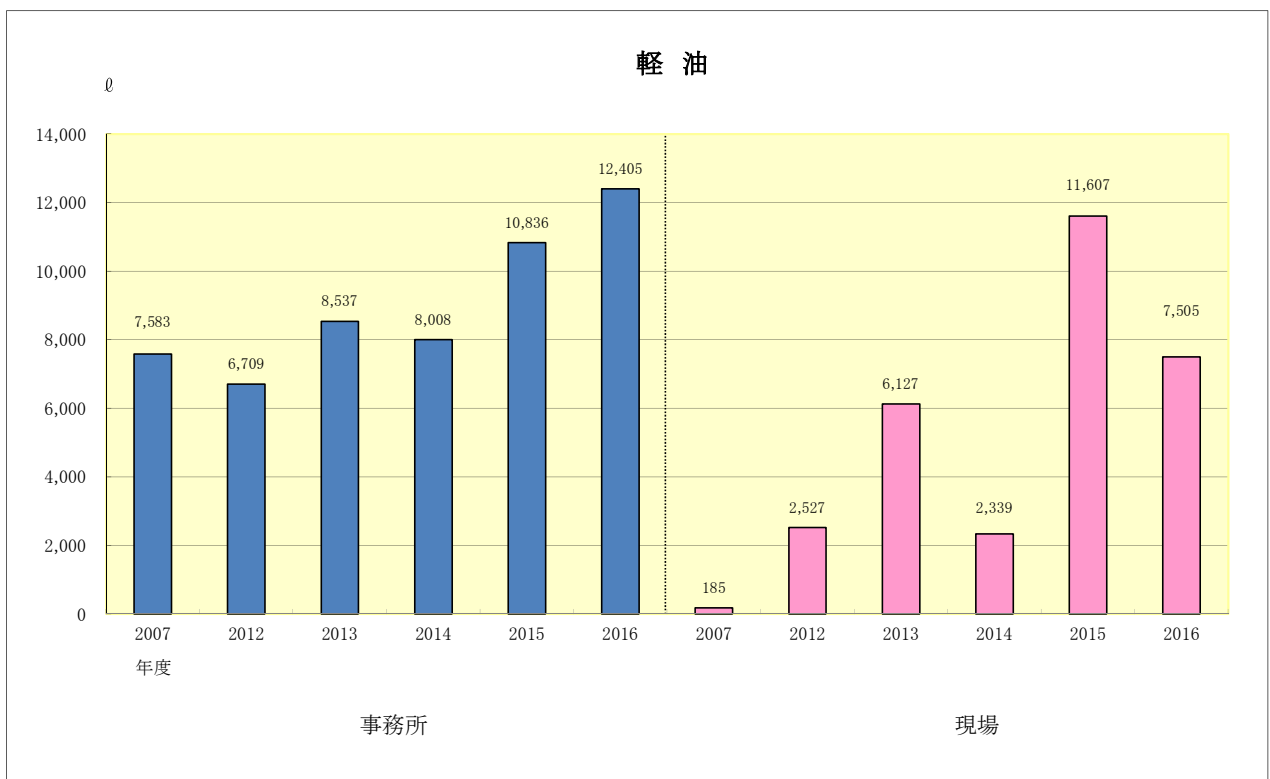
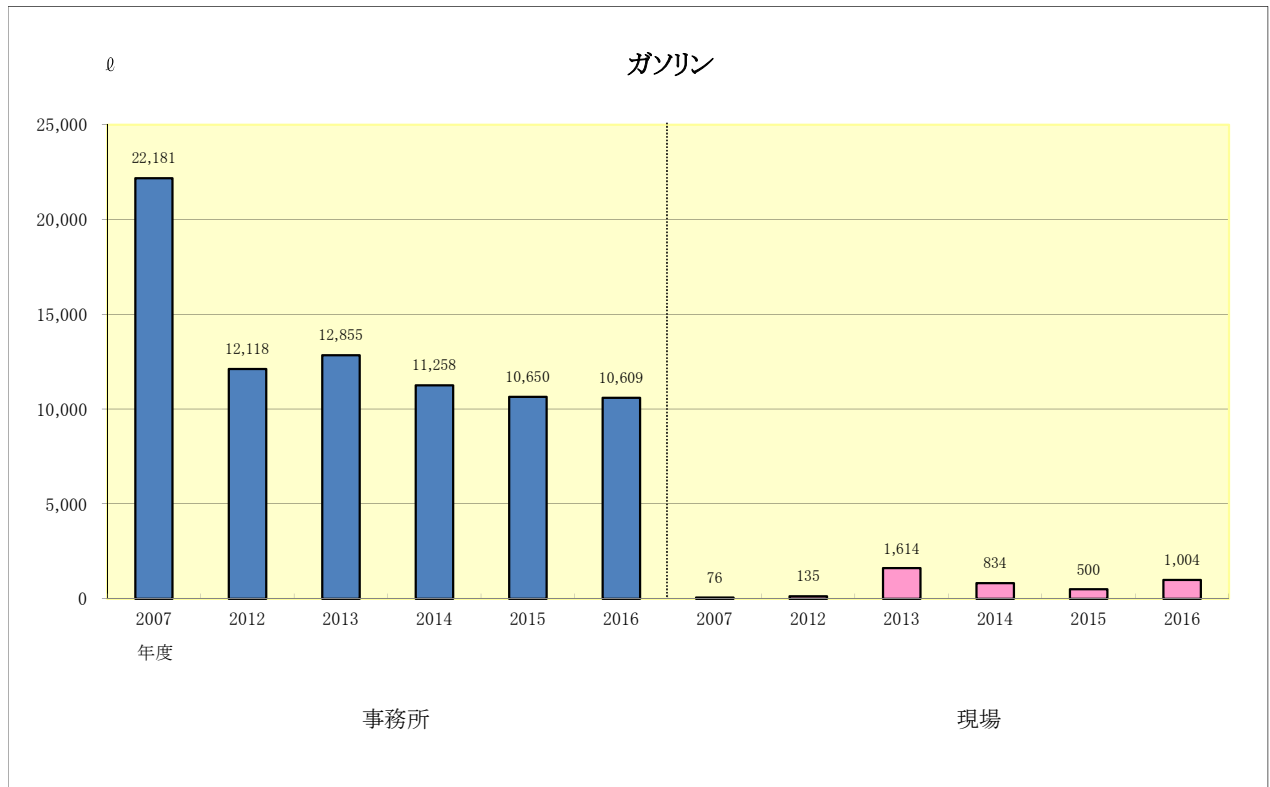


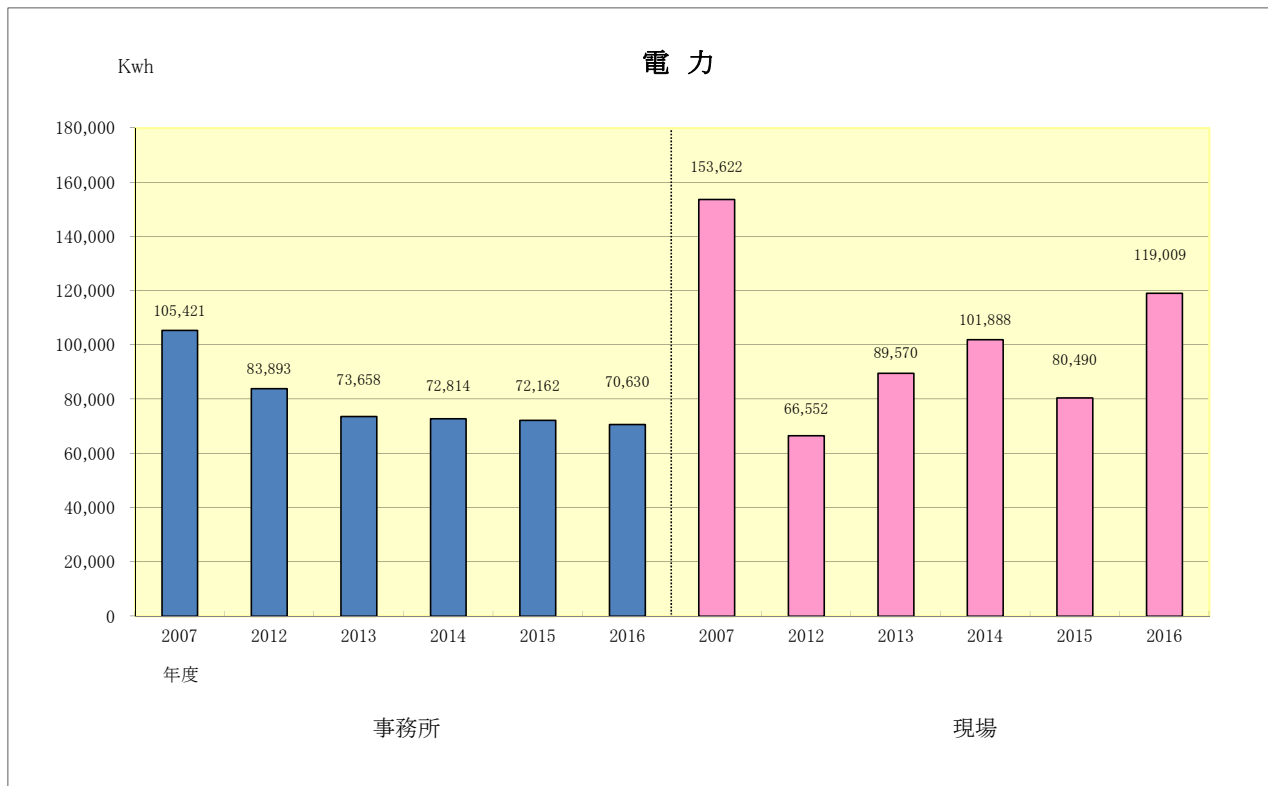
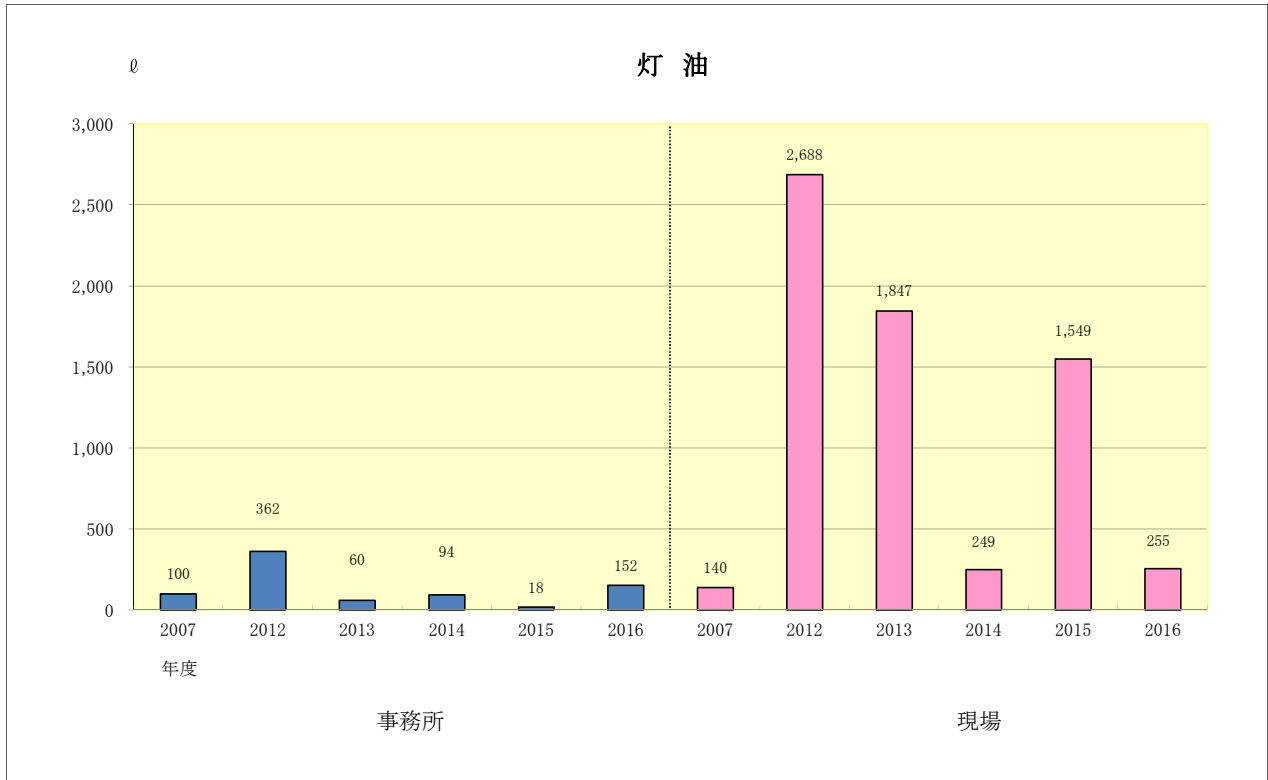
	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
■ 目標 事務所	-30.0	-30.0	-30.0	-32.0	-30.0
▨ 実績 事務所	-29.8	-28.0	-32.8	-28.4	-25.8
■ 目標 現場	-6.0	-6.0	-6.0	-17.0	-6.0
▨ 実績 現場	47.6	22.3	-16.5	-1.8	141.3

CO2削減の実績推移【直近5年】



環境の負荷実績【2007年度(基準年)、直近5年】





5-1. 環境活動の計画と取組結果の評価(CO₂排出量削減)

項目	取組計画	担当者	取組結果	評価
電気・水・灯油				
電力	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ技術開発に取り組む(地中熱基礎空調の活用、省エネ改修工事の推進活動 他) 1階事務所GEO機械室入口ドアにヒートポンプ電源ON・OFFのプレートを取付け、電源の管理を行う 2階事務所掲示板にヒートポンプ電源ON・OFFのプレートを取付け、電源の管理を行う 	前田ノ・迫田 加治屋 杉本	<ul style="list-style-type: none"> GEOパワーシステム導入 2件、省エネ改修・建築工事 1件 の実績となった。2016年度は熊本地震による震災復旧が工事の中心となった。 室温を随時チェックし、管理した。また退社時の電源OFF忘れ防止の為プレートを活用し全社員に分かるようにした。 プレートを取り付けることにより、電源の消し忘れを防いだ。 	△ ○ ○
灯油	<ul style="list-style-type: none"> 冬場の暖房器具は室内温度20度を目処に設定する(現場事務所) 	各現場所長	<ul style="list-style-type: none"> 各現場事務所に温度計を設置し、安全パトロール時にも確認した。 	○
自動車燃料等				
エコドライブ	<ul style="list-style-type: none"> 社有車を購入する際は、燃費重視の車にする 自動車を利用する際、同一場所へ行く時は相乗りを進める タイヤの空気圧を適正に保つなど、定期的な点検整備を行う 長距離の移動については、公共機関を積極的に利用する 現場では、協力会社へ乗りあわせて通勤を依頼する 	田村 金子 田村・岩崎七 金子・前田ノ 各現場所長	<ul style="list-style-type: none"> 2016年度は営業車の購入をしなかった。 研修会・講演会・現説・入札等、複数人で行く場合は相乗りをした。 空気圧の点検を行った。 県外出張時にはJR利用を促進し、近隣県にも出来る限り公共機関を利用した。 新規入場者教育に「8.環境活動に関する事項」を追記して、協力会社に依頼した。 	- ○ ○ ○ ○
重機等	<ul style="list-style-type: none"> 使用していないときはエンジンを止め、CO₂削減に努める 	各現場担当者	<ul style="list-style-type: none"> 新規入場時に教育し、事故防止にも繋げた。 	○
グリーン購入				
購入	<ul style="list-style-type: none"> 再生紙、非木材紙を購入する 詰め替え商品・リターナブル容器入りを購入する (筆記用具・洗剤・ソープ等) 	長谷川 長谷川	<ul style="list-style-type: none"> 名刺を非木材紙とした。 購入担当は総務課とし、詰め替え可能な商品を選定して購入した。 	○ ○
提案	<ul style="list-style-type: none"> 営業活動において、エコバッグ・エコ商品の配布を行い配布先・社員ともにエコに対する関心を高める 設計において、グリーン購入法適合商品(省エネラベル・エコマーク・グリーンマーク)の材料・設備等を1物件2件以上提案し、環境配慮設計に努める 環境負荷低減に関する有用な情報を設計者が共有している 	榮 杉本・村端 杉本	<ul style="list-style-type: none"> 着工時にはエコバッグ・エコ商品を持って近隣挨拶を実施した。 施主の要望に応える省エネ案を提案した。 資料の回覧・保管を徹底し、各物件の省エネ提案の状況を表にまとめた。 	○ ○ ○
現場	<ul style="list-style-type: none"> 文房具は持ち回りをし、詰め替え出来る商品を購入する 	長谷川	<ul style="list-style-type: none"> 購入担当は総務課とし、詰め替え可能な商品を選定して購入した。 	○
リサイクル				
用紙	<ul style="list-style-type: none"> 古紙(新聞・雑誌・コピー用紙・カタログ等)の分別回収を行う 電子メディアを利用し、ペーパーレス化を図る 	岩崎七・杉本 中村フ・村端	<ul style="list-style-type: none"> 古紙はリサイクル業者に持ち込み処理を依頼した。(年2回) 図面は、データで他社へ渡した。(メールにてデータ配信) DocuWorksを導入し、ISOマニュアル等の配布を用紙からデータへと移行した。 	○ ○

項目	取組計画	担当者	取組結果	評価
廃棄物				
産業廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物管理票(マニフェスト)に基づき適正に処理する ・ 再生利用及び再生利用率を向上させる 	現場担当者 岩崎七 建築部・管理課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理課で一括管理し毎年6月30日までに、役所にマニフェスト交付等状況報告書を提出。現段階までは、適正に処理されている。 ・ 委託業者への立入調査、協力依頼をした。 	○ ○
PCB	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適正に保管管理を行う。毎年6月30日までに役所に保管の状況を書面で(数量、状況写真)提出する 	岩崎七	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施錠が出来る場所に保管し、延滞なく管理状況を期日までに提出した。 	○
現場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物の削減 ・ リサイクル品の使用 	建築・管理課員 建築・管理課員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 材料発注を計画的に行い、材料の無駄を無くした。 ・ 砕石は、リサイクル材である再生クッションを使用した。 	○ ○
地域貢献活動				
ペットボトル	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャップを別途回収し、途上国のワクチン費用に充てる 	杉本	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務所、現場に回収BOXを設置し、関係機関へ持参した。(6,020個収集) 44.10kgのCO2発生を削減できた。 	○
清掃活動 美化ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県道:熊本菊鹿線(管理者:熊本市(熊本市中央区黒髪))年2回の清掃活動を実施 地域の美化活動を行う 	田村	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5月と12月の年2回実施した。 	○

○・・・出来ていた

△・・・完全には出来ていなかった

×・・・今年度は出来なかった

エコ活動取り組み状況

エコキャップ回収

- ペットボトルのキャップを集めてポリオワクチン購入等に充てる活動に参加しています。今年も永野商店に持って行き14.0kgのエコキャップを回収できました。

第10回2016.10.31実施
14.0kg回収
6,020個

14.0kg!!



エコキャップ 受領書

株式会社磯吉組
杉本 正己様
ID: 85690
分類: 会社
登録地: 熊本県熊本県市井5-30-15
FAX番号: 096-343-2231

2016/11/07
NPO法人 エコキャップ推進委員会
〒231-0023
神奈川県横浜市山下町152
2F 2F 2F 2F 2F 2F
TEL: 045-900-0294
FAX: 045-900-0295
http://ecocap.jp

今回受領個数: 6,020 個	累計個数 (2016/10/31時点): 18,748 個		
受取日	総量	回収率	備考
2016/10/31	14.00kg	6.020個	出付様

ご提供いただいたエコキャップは再生プラスチック原料として炭酸し、医療支援・ワクチン支援や障がい者支援、子どもたちへの環境教育等、様々な社会貢献活動にあてられています。ご協力ありがとうございます。皆様のご厚意を大切に致します。

- 累計のキャップをゴミとして焼却した場合のCO2発生量
→ 137.34 kg
※キャップ1kg CO2 19.5kg CO2発生します

自社のその他取り組み

分別OK!



月1回ある現場の安全パトロールにエコ委員も参加し、現場でのエコの取り組み状況を確認しています。

全体会議で講師を招いて環境講話を行い、環境に対する意識向上に努めています。今年にはNPO環境技術協会様に講話をしていただきました。

環境を通して地域貢献 ～当社の活動を紹介します～

- 当社では、年2回近隣の道路清掃を行い、地域環境の保護に努めています。



第16回
2016.05.21実施



第17回
2016.11.19実施

地中熱利用換気システム「ジオパワーシステム」とは……



年間を通して地域の年間平均気温とほぼ同じ温度の地下5mの特性を利用し、地下に垂直に埋設したパイプ内に外気を通して熱交換を行ない、夏は涼しく、冬は暖かい空気を室内に送り込むことで、なるべく冷暖房機器に頼らずに「心地よい」温熱空間を実現するものです。

システム概要

【空気循環ユニット】

エアサイクル時間はタイマーで設定が可能。空気が常に流れているのでさわやか

【コントロールパネル】

タイマー設定、風量の状況などシステムの確認や設定ができます

【換気】

換気時間はタイマーで設定可能
空気の入口と出口が離れているので安心

【セラミック炭】

消臭・調湿、遠赤外線効果なども期待できる

【ジオパイプ】

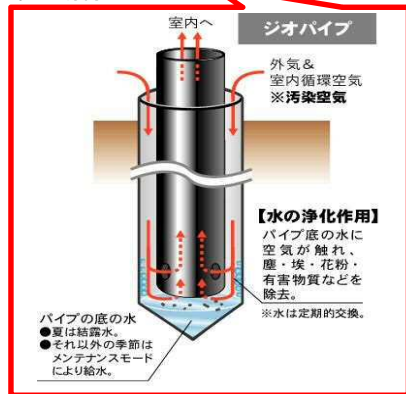
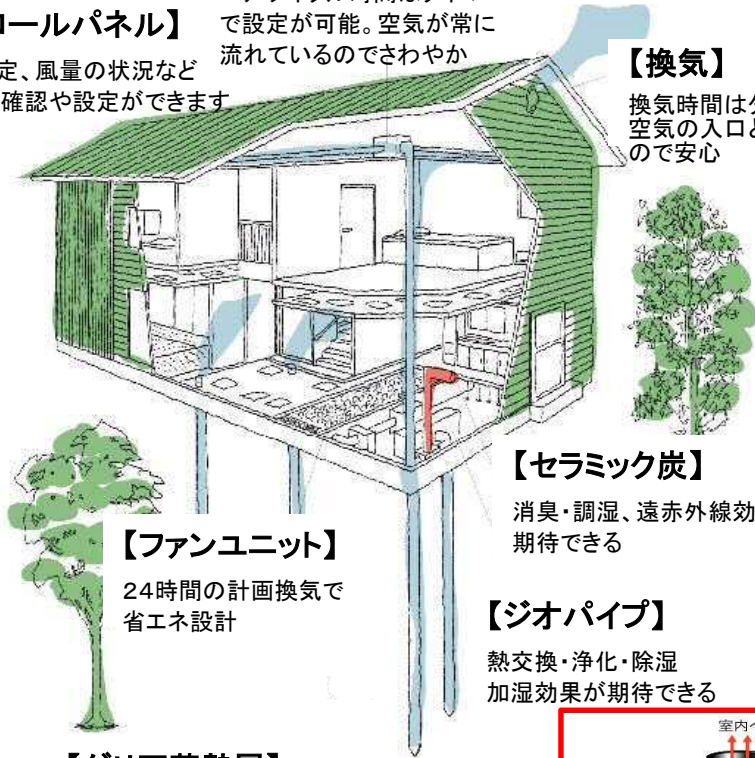
熱交換・浄化・除湿
加湿効果が期待できる

【ファンユニット】

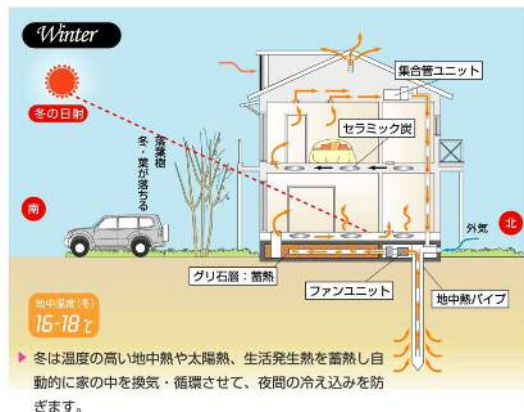
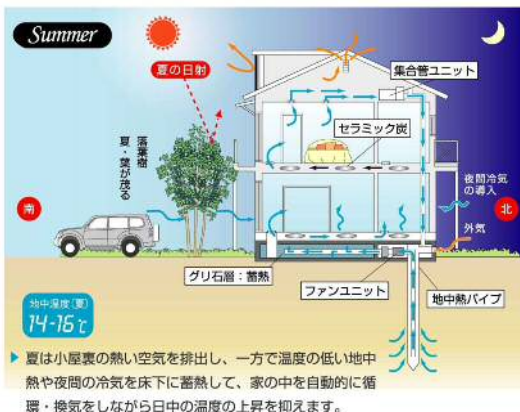
24時間の計画換気で省エネ設計

【グリ石蓄熱層】

蓄熱、蓄冷で省エネ効果を発揮します



夏・冬の循環、換気運転



省エネ等改修工事／ネット・ゼロ・エネルギービル実証事業 一覧

工事年度	補助金交付機関	工事名	補助事業者 / 事業名	工期	工事内容	申請時エネルギー削減率	実績エネルギー削減率	CO2削減量
平成22年度	国土交通省	介護老人保健施設M 省エネ改修推進事業工事	省CO2推進事業実施支援室 平成21年度 住宅・建築物省エネ改修推進事業	2010/03/23～ 2010/05/31	・開口部改修（複層ガラス化） ・空調設備改修(60台入替)	11.7%	11.8%	25.36 t-CO2
平成23年度	国土交通省	(株)K研究所 省エネ改修推進事業工事	省CO2推進事業実施支援室 平成22年度 建築物省エネ改修緊急支援事業	2011/03/31～ 2011/06/30	・開口部改修（複層ガラス化） ・空調設備改修	11.3%	11.5%	16.1 t-CO2
平成24年度	経済産業省	M医院 節電改修工事	一般社団法人環境共創イニシアチブ 建築物節電改修支援事業	2012/06/21～ 2012/08/31	・空調設備改修 ・給湯設備改修	21.3%	22.8%	6.54 t-CO2
	経済産業省	Kビル 省エネ改修工事	一般社団法人環境共創イニシアチブ 建築物節電改修支援事業	2012/06/23～ 2012/08/31	・空調設備改修	14.3%	19.9%	38.8 t-CO2
	国土交通省	T(株) 省エネ改修推進事業工事	省CO2推進事業実施支援室 平成24年度 建築物省エネ改修推進事業	2012/10/06～ 2012/12/25	・開口部改修（複層ガラス化） ・空調設備改修 ・計測機器導入	21.2%	① 17.1% ② 19.0%	① 56.07 t-CO2 ② 62.61 t-CO2
	国土交通省	介護老人保健施設 K-M 平成24年度建築物省エネ改修推進事業工事	省CO2推進事業実施支援室 平成24年度 建築物省エネ改修推進事業	2013/02/01～ 2013/03/31	・開口部改修（複層ガラス化）732㎡ ・空調設備改修（86台入替） ・計測機器導入	21.0%	① 11.6% ② 16.1%	① 33.89 t-CO2 ② 47.15 t-CO2
平成25年度	経済産業省	介護老人保健施設 M-Z E B化推進事業工事	一般社団法人環境共創イニシアチブ 平成25年度 住宅・ビルの革新的省エネ技術導入促進事業 (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル実証事業)	2013/08/30～ 2014/01/15	・開口部改修（複層ガラス化） ・空調設備改修 ・照明設備改修 ・給湯設備改修 ・地中熱利用換気システム導入 ・計測機器導入	44.1%	① 29.6% ② 36.8%	① 9.66 t-CO2 ② 10.49 t-CO2
平成26年度	経済産業省	特別養護老人ホームH 省エネルギー事業	一般社団法人環境共創イニシアチブ エネルギー使用合理化等事業者支援事業	2014/10/1～ 2014/11/30	・空調設備改修 ・照明設備改修（LED） ・計測機器導入	11.0%	17.3%	69.16 t-CO2
	国土交通省	特別養護老人ホームT 建築物省エネ改修等推進事業工事	省CO2推進事業実施支援室 平成26年度 建築物省エネ改修等推進事業	2014/9/16～ 2014/11/29	・開口部改修（複層ガラス化） ・屋根断熱改修 ・空調設備改修（高効率） ・照明設備改修（LED） ・給湯設備改修(ボイラーの高効率化) ・計測機器導入 ・天井断熱 ・日射調整フィルム	16.6%	23.7%	117.57 t-CO2
平成27年度	経済産業省	障害者支援センターD Z E B化実証事業工事	一般社団法人環境共創イニシアチブ 平成26年度補正 住宅・ビルの革新的省エネ技術導入促進事業 (Z E B実現に向けた先進的省エネルギー 建築物実証事業)	2015/10/1 ～ 2016/1/28	・建物性能（断熱サッシ+Low-E複層ガラス） ・建物性能（土間・外壁・屋根断熱） ・高効率空調設備 ・全熱交換型換気設備 ・地中熱利用換気設備 ・高効率照明設備 ・太陽熱利用給湯設備 ・創エネルギー導入（太陽光発電+蓄電池） ・計測機器導入	基準一次エネルギー消費量からの削減 63.00% (創エネ含み) (67.70%) 69.90% (創エネ含み) (75.80%) 745.23 t-CO2 (創エネ含み) (808.06 t-CO2)		

独立型再生可能エネルギー発電システム等対策費事業 一覧

工事年度	補助金交付機関	工事名	補助事業者 / 事業名	工期	工事内容	申請時エネルギー発電量	実績エネルギー発電量	CO2削減量
平成26年度	経済産業省	特別養護老人ホームH 太陽光発電設備設置事業	一般社団法人 新エネルギー導入促進協議会 平成26年度 独立型再生可能エネルギー発電システム等対策費補助金	2014/10/09～ 2014/11/30	・太陽光発電パネル設置 ・計測装置導入	36,786 kWh	41,003 kWh	20.7 t-CO2

平成28年度施工物件(ジオパワーシステム工事)

ジオパワーシステム工事【天寿園N e O】



← 外気取入れ口

ジオパワーシステム工事【長洲町立小中学校（小学校4校、中学校2校）】



← 普通教室に導入

5-2. 環境活動の全体評価

・電気・水・灯油

2016年度、事務所の購入電力においては70,630kwhと、2015年度の72,162kwhと比較し、1,532kwhの削減となった。2015年度、当社所有ビル全館(建峰ビル1～8階)、照明器具から誘導灯まで全ての器具約600台をLED化した事による結果だと考えられる。

現場においては2016年度、購入電力119,009kwhと、2015年度の80,490kwhと比較し38,519kwhと大幅な増加となった。前年からの繰越工事(大型物件)が大きかった事が要因である。

・自動車燃料等

社有車は政府推奨の次世代自動車(エコカー)が、19台中10台となっており、全社有車の約70%までにエコカーを増やし、CO2削減に企業として努力したい。

県内の遠方や県外などへの出張は、ハイブリッドカーを利用してさらなる燃費の向上を目指しており、エコドライブへの意識を高く持つことでCO2削減につながることも実感できた。

また、ガソリン消費量・CO2排出量削減への意識改革の為、相乗り等を積極的に行いCO2排出量を意識することが出来た。

・グリーン購入

今年度のグリーン購入率実績としては、事務所が67.3%、現場が55.5%となり、事務所のみ目標の62.0%を達成することが出来た。現場では在庫を抱えることができず、必要な物を必要な時に少量ずつ購入する為、購入率が事務所よりも低い傾向にある。グリーンマーク製品を優先して購入する意識は高まっているので、今後も現場でのグリーン製品調達を積極的に実施して目標値の達成に努めたい。

・リサイクル

ミスコピー・ミス印刷の削減、裏紙使用の意識も浸透しているので、今後も継続していく。

又、社内書類のペーパーレス化を推進しており、会議室に新しく導入したBIG PADを活用して会議資料の配付枚数の削減に努めている。古紙のリサイクルに関しても、年2度のリサイクル業者持ち込みを継続して実施している。

・廃棄物

新築工事に関しては100%近くの再資源化が進んでいるが、改修・解体工事におけるガラス・陶磁器くず、その他のがれき類の再資源化がなかなか進まないため、その発生を極力抑え、より選別された廃棄物にして処理するかによって、再資源化率が向上していくものと期待できる。

よって今後、分別回収になお一層取り組み、改善を進めていく。

・GEOパワーシステムの普及におけるCO2削減について

今年度は、7棟にジオパイプ7.5mを44本(5mに換算すると132本)導入、年間約66tのCO2削減を行った。これを杉の木の吸収量で表すと、杉の木4,714本分のCO2吸収量と同じことになる。

※2016年度「GEOパワーシステム施工実績」(前期2015年度合計6棟:ジオパイプ93本(5m換算))

用途別	学校	福祉施設	合計
棟数	6	1	7
ジオパイプ本数	7.5m×36本	7.5m×8本	7.5m×44本

※5m換算:132本

累計施工実績 2009年度(施工開始)～2016年度累計 43棟 ジオパイプ 394本(5m換算) CO2削減 197t

・省エネ等改修工事について

平成22年度より国交省や経済産業省の補助金を利用して、昨年度までに11件の施工を行った。工事内容は断熱サッシ・複層ガラス、土間や外壁の断熱、創エネルギー導入等で、CO2を1,159.71t削減することができた。

・地域貢献活動

ペットボトルのキャップを回収し、医療支援・ワクチン支援等の社会貢献活動に充てる活動に協力している。2016年度のキャップ回収は約14.0kg、6,020個(第10回目)で累計のキャップをゴミとして焼却した場合のCO2発生量44.10kgを抑えることが出来た。

年2回の美化ボランティアも2016年度も行う事ができ、今までに17回実施できた。今後も地域貢献の為に継続していきたい。

当社で取り組んでいる地熱・内外両断熱・太陽光・省エネ器具など環境配慮設計を積極的に進めて、CO2削減の為、お客様への提案を推進していきたい。

5-3. 環境活動の今後の課題

熊本地震の影響で災害廃棄物の処理に時間を要し大変であった。現場では化学物質等の保管に対する意識も強くなり、協力会社への指導も徹底している。

震災復旧工事は落ち着いてきたが、毎日の業務でも環境活動への取り組みを強化し、社員・協力業者の方々に環境教育、講習会等を実施し環境活動を推進していきたい。

6. 環境活動における次年度の取組内容(2017.4.1～2018.3.31)

項目	取組計画	取組手順	担当者
電気・水・灯油			
電力	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ技術開発に取り組む(地中熱基礎空調の活用、省エネ改修工事の推進活動 他) 1階事務所GEO機械室入口ドアにヒートポンプ電源ON・OFFのプレートを取付け、電源の管理を行う 2階事務所掲示板にヒートポンプ電源ON・OFFのプレートを取付け、電源の管理を行う 	<ul style="list-style-type: none"> GEOパワーシステム、省エネ改修工事の提案を行う 室温に応じ、電源のON・OFFを行う 室温に応じ、電源のON・OFFを行う 	<p>前田ノ・山本</p> <p>加治屋</p> <p>杉本</p>
灯油	<ul style="list-style-type: none"> 冬場の暖房器具は室内温度20度を目処に設定する(現場事務所) 	<ul style="list-style-type: none"> 温度管理を13時に1回チェック表にてチェック 	各現場所長
自動車燃料等			
エコドライブ	<ul style="list-style-type: none"> 社有車を購入する際は、燃費重視の車にする 自動車を利用する際、同一場所へ行く時は相乗りを進める 長距離の移動については、公共機関を積極的に利用する 現場では、協力会社へ乗りあわせで通勤を依頼する 	<ul style="list-style-type: none"> 燃費の良い車を購入前に把握する 週間予定表を確認し、事前に相乗り計画を立てる 交通運賃価格比較表に基づいて車、又は公共機関を検討 入所する時に確認する→乗り合わせの指示をする→パトロール時に状況を確認 	<p>田村</p> <p>金子</p> <p>金子・前田ノ</p> <p>各現場所長</p>
重機等	<ul style="list-style-type: none"> 使用していないときはエンジンを止め、CO2削減に努める 	<ul style="list-style-type: none"> 新規入場の際に業者へ教育をする 	各現場担当者
グリーン購入			
購入	<ul style="list-style-type: none"> 再生紙、非木材紙を購入する 詰め替え商品・リターナブル容器入りを購入する(筆記用具・洗剤・ソープ等) 	<ul style="list-style-type: none"> 材質を確認し、コピー用紙・名刺等の紙類の発注を行う。 詰め替え商品・リターナブル商品の予備を購入しておく。予備のない場合は注文者がグリーン担当者を通して商品の選定→責任者が確認をし、発注する 商品の持ち出し時に責任者へ報告→責任者は配布状況の確認・把握をする 	<p>長谷川</p> <p>長谷川</p>
提案	<ul style="list-style-type: none"> 営業活動において、エコバッグ・エコ商品の配布を行い配布先・社員ともにエコに対する関心を高める 設計において、グリーン購入法適合商品(省エネラベル・エコマーク・グリーンマーク)の材料・設備等を1物件2件以上提案し、環境配慮設計に努める 環境負荷低減に関する有用な情報を設計者が共有している 	<ul style="list-style-type: none"> 各会議時に、仕様書・プレゼンシート等を参考に2件以上の提案が行われているか確認する 各人で入手した情報の資料を設計回覧し、回覧後は「市場情報」ファイルにて保管。実施設計以降の物件は「省エネ提案状況表」に環境配慮した項目を記入 	<p>榮</p> <p>杉本・村端</p> <p>杉本</p>
現場	<ul style="list-style-type: none"> 文房具は持ち回りをし、詰め替え出来る商品を購入する 	<ul style="list-style-type: none"> 建築部員は現場ごとでの文房具商品の購入を控える →注文する場合、責任者を通し、商品の選定を行う 	長谷川
リサイクル			
用紙	<ul style="list-style-type: none"> 古紙(新聞・雑誌・コピー用紙・カタログ等)の分別回収を行う 電子メディアを利用し、ペーパーレス化を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 個人または各部署毎に分別し、年に2回リサイクル業者に持ち込む 電子メディアの活用を徹底し、ペーパーレス化を図る 	<p>岩崎ヒ・杉本</p> <p>中村フ・村端</p>



項目	取組計画	取組手順	担当者
廃棄物 産業廃棄物 PCB 現場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物管理票(マニフェスト)に基づき適正に処理する ・ 再生利用及び再生利用率を向上させる ・ 適正に保管管理を行う。毎年6月30日までに役所に保管の状況を書面で(数量、状況写真)提出する ・ 廃棄物の削減 ・ リサイクル品の使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1.現場毎に産業収集処理業者と委託契約を早急に結ぶ ・ 2.産廃搬出量を毎月現場毎に集計する ・ 3.現場終了後マニフェスト伝票・マニフェスト交付状況報告書を建築部に提出 ・ 委託契約業者に再利用が行われているか確認する ・ 毎月月末に保管状況を点検・確認する ・ 現場ごとに削減案を作成し実行する ・ 再生資源を利用する 	1.現場担当者 2.現場担当者 3.岩崎と 建築部 岩崎と 建築部 建築部
地域貢献活動 ペットボトル 清掃活動 美化ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャップを別途回収し、途上国のワクチン費用に充てる ・ 県道:熊本菊鹿線(管理者:熊本市(熊本市中央区黒髪))を年2回清掃活動実施 地域の美化活動を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務所、現場に回収BOXを設置→関係機関へ持参 ・ 年2回清掃を行う 	杉本・田村 田村

【環境法規制等遵守 チェックリスト】

特定日:2008年12月1日

改訂日:2015年8月1日

地域密着型特別養護老人ホーム天寿園 東館(仮称)建物新築工事

作成 現場責任者	確認 部門長	承認 エコアクション統括管理者
		

作業所における適用可能な法的及びその他の要求事項のうち、主な届出や関係者への提出義務のある事項及び遵守しなければならない事項に関するチェックリストです。

環境法規制等の名称/略称	規制内容			適用				実施		文書・記録 【有資格担当者】	確認
	届出、作業等	適用範囲	適用条件	本社	新築	改修	解体	手続き・遵守事項	実施日		
リサイクル系											
廃棄物処理・リサイクル											
廃棄物処理法	産業廃棄物の委託処理	産業廃棄物	汚でい、廃油、廃プラ、建設木くず、建設紙くず、建設繊維くず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類、ゴムくず、コンクリート破片など 「石綿含有(重量比0.1%超)産業廃棄物」 「リース業に係る木くず及び運送用パレットに係る木くず」(平成20年4月1日施行)	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	委託基準 1. 委託先の許可確認	11/9 契約	・収集運搬及び処分業者の許可証の確認 ・中間処理場等の現地確認	中原
				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	委託基準 2. 委託契約の締結 3. 契約書の5年間保存	同上	・委託契約書の内容確認(委託金額、産業廃棄物の種類、性状、性状等変更情報の伝達方法等)	中原
				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	マニフェストの交付 1. 交付義務	随時	・適合マニフェストを使用	中原
	廃棄物の処理	廃棄物	現場保管又は仮置場	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	積み上げ高さの厳守、雨、風、悪臭発生に対する養生、保管場所の掲示板設置	同上		中原
	特別管理産業廃棄物管理責任者、排出事業所、排出報告の届出	特別管理産業廃棄物(特に解体工事における廃石綿等)	自治体により上乘せ基準	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	知事・市長へ届出(届出期間、様式は条例等規定)		事業所設置届出特管物管理者届出特管物排出報告書	
労働安全衛生法	解体・改修工事に伴う「石綿等」の除去作業(石綿障害予防規則)	石綿等の除去作業(封じ込め、囲い込み作業含む)	「石綿等(石綿及び重量比0.1%超含有物)使用建築物等」の解体作業			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・作業開始前14日前までに労働基準監督署に建築工事計画届を提出 ・作業主任者の選定 ・作業環境測定(6ヶ月以内ごとに1回)健康診断(6ヶ月以内ごとに1回)等 ・記録の保存(40年間)		作業計画 【作業主任者:】 測定記録	
再生資源利用省令	解体工事、土工事、外構工事	指定副産物::建設発生土、コンクリート塊、アスファルト、コンクリート塊の利用	【再生資源利用計画の作成】 ・体積が1000m3以上である土砂 ・重量が500tである砕石 ・重量が200t以上である加熱アスファルト混合物				<input type="radio"/>	指定建設資材と再生資源の利用量の把握等による計画の作成と実施記録の保存(1年間)			

8. 建設に係る環境関連法規への違反、訴訟等の有無

.....環境関連法規制の遵守状況をチェックしたところ、違反は有りませんでした。

.....また、現時点まで関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情、訴訟について

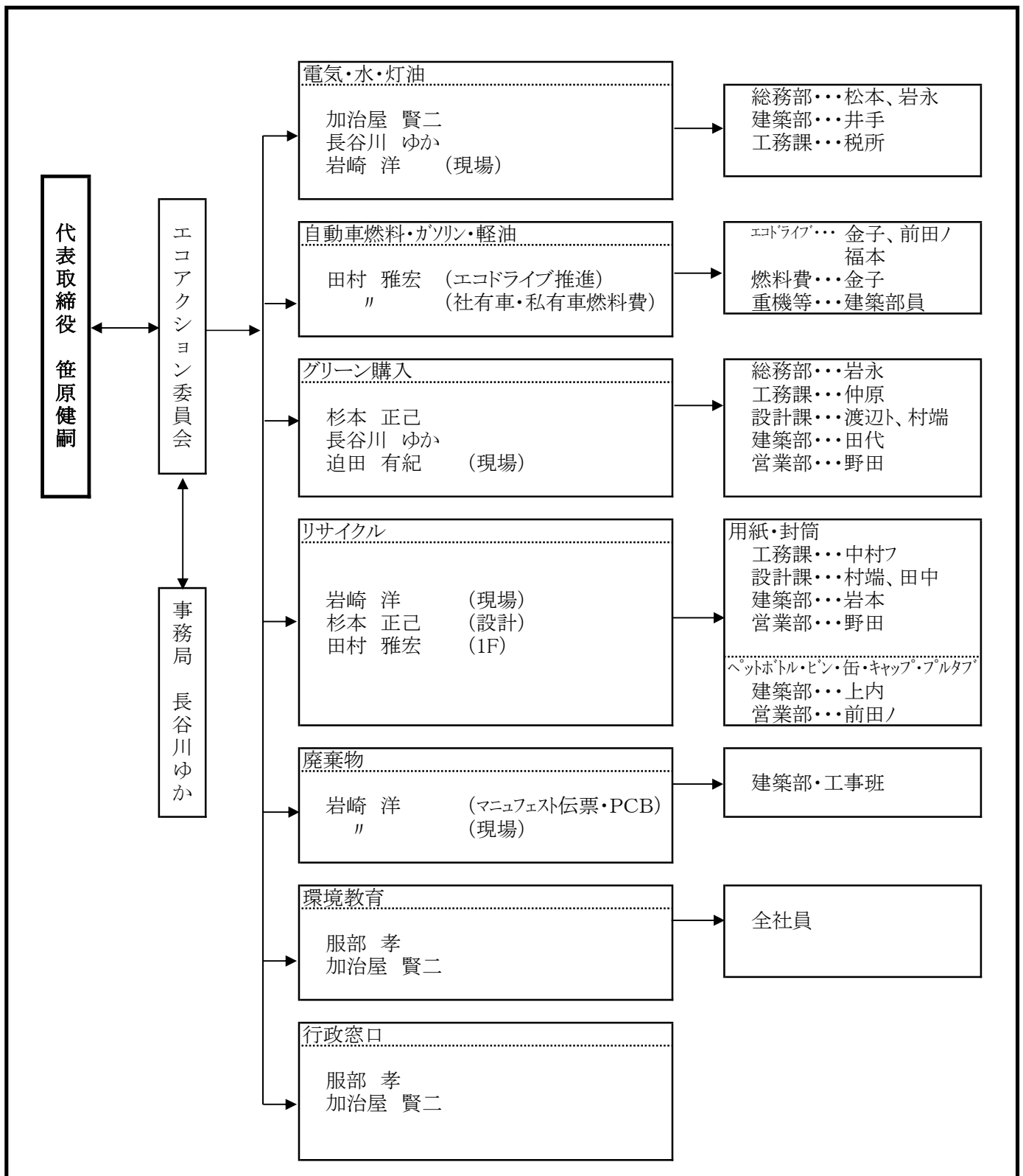
.....問題ありません。

9. 実施体制(社内) 2016年度

エコアクション委員

統括管理者 : 服部 孝
 委員長 : 加治屋 賢二
 事務局 : 長谷川 ゆか
 委員 : 岩崎 洋、杉本 正己、田村 雅宏、迫田 有紀

エコアクション委員会実施体制

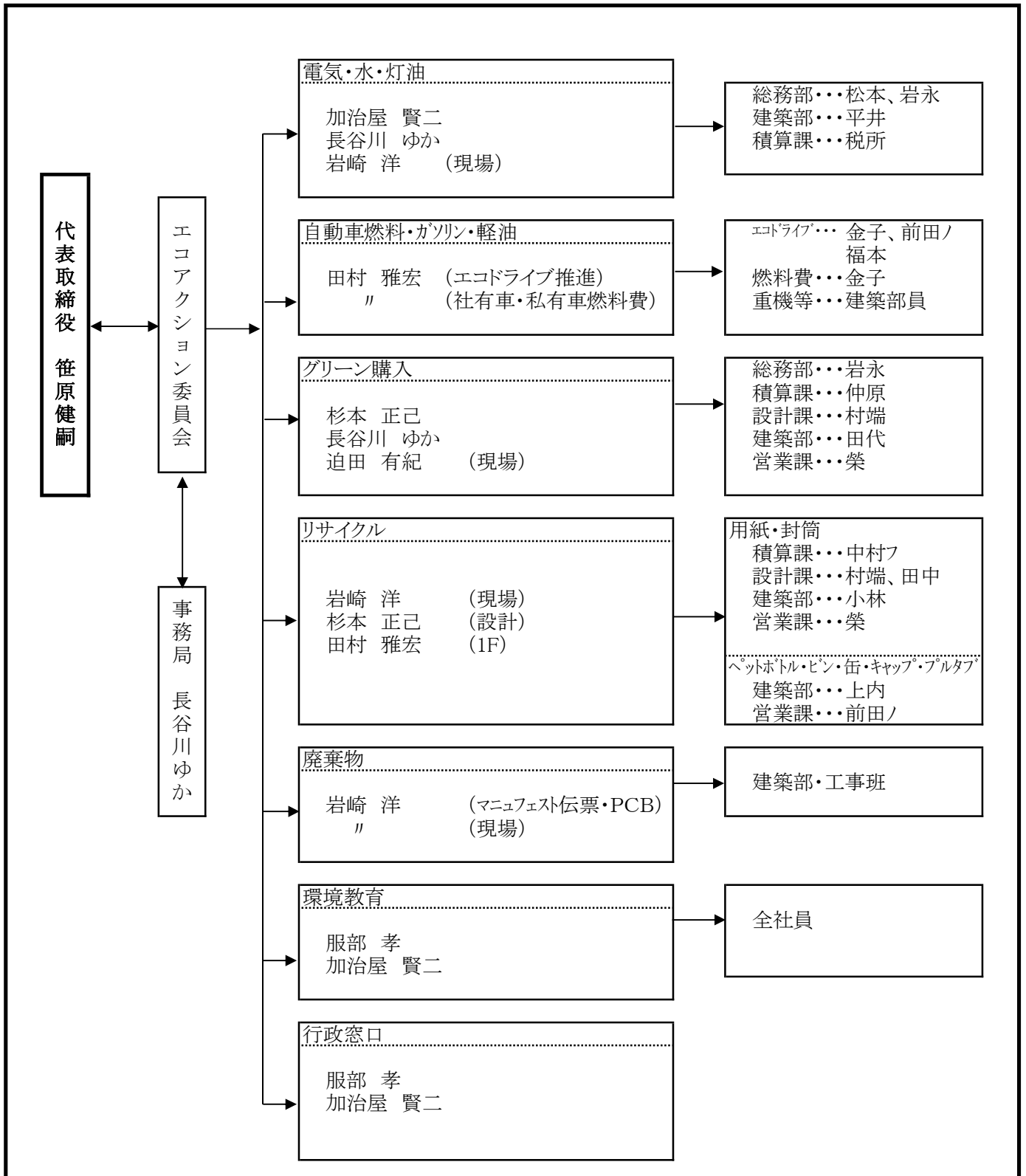


9. 実施体制(社内) 2017年度

エコアクション委員

統括管理者 : 服部 孝
 委員長 : 加治屋 賢二
 事務局 : 長谷川 ゆか
 委員 : 岩崎 洋、杉本 正己、田村 雅宏、迫田 有紀

エコアクション委員会実施体制



10. 代表者による全体評価と見直しの結果

(1) 全体の評価

昨年は「平成28年熊本地震」が発生し、建設業界にとって多忙な1年となりました。

復旧・復興では、解体など一部工種で人手不足と労働単価の高騰が見られ、なかなか工事が進まず、まだまだお客様にはご迷惑をお掛けしている状況です。

昨年度はCO2削減の目標値を見直し、短期・中期の目標値を下げ設定しましたが、実績は事務所で目標値 -30.0% に対して -25.8%、現場は -6.0% に対して 141.3% という結果となりました。現場の数値は、場所や立地条件、工事受注高などの作業環境が影響したと思われます。事務所も目標を達成できませんでしたが、基準年からは継続的に削減率を維持しています。

環境活動も9年が過ぎましたが、全社員が理解しているレベルに至っているか、これからも継続した教育が必要と考えます。また、協力会会員各社にも協力を呼びかけ、6月の環境月間では社員・協力会全体で勉強会を開催し、CO2削減を進めていきます。

自然エネルギー「地中熱」を利用したGEOパワーシステムの昨年度の施工は、福祉施設や教育施設 7棟に大型GEOパイプ 7.5m・44本の施工を行い、CO2削減は年間66.0tとなりました。9年間では48棟、394本(GEOパイプ5mに換算 7.5m 1本 = 5m 3本分)となり累計で197tのCO2削減に貢献できました。

社有車も、自動車NOx・PM法の低公害車普及戦略の中の次世代自動車(エコカー)への買い替えを継続して促進し、作業所でも低燃費型建設機械の使用の徹底を推進し、CO2削減に企業として努力して参ります。

(2) 目標の見直し

2017年度のCO2削減目標は、2016年度が未達成の為見直しを行い、事務所 30% は継続、現場は 6% から 3% に設定、中期目標も同じく見直しました。現場は環境の違いで目標達成が難しいところもありますが、引き続き環境負荷の低減に全社員で努めていくことを期待します。

2017年7月1日

株式会社 建吉組

代表取締役

安原健嗣

住宅だけではなく、様々な建築物に応用可能です。



建

<http://www.tateyosi.co.jp>